

「科学の現在を問う」活動シート（評論文「科学の現在を問う」著者：村上陽一郎）

1. 本文に科学の研究の「負の影響」について言及されている。それは具体的にどのようなものだろうか。科学の研究における正負の影響について、具体的に考え、以下の表に書き込もう。

番号	研究・発明の内容	+正の面（社会に良い影響を与えると考えられる点）	-負の面（社会に悪い影響を与えると考えられる点）	備考
1	ダイナマイト	土地の開墾・建設現場の労働を軽減する。	★	ノーベル
2	ラジウムの発見	エネルギーとして使える。昔は放射線治療などに用いた。	★	キュリー夫妻 1903 ノーベル賞
3	アンモニアの生成（ハーバー・ボッシュ法）	化学肥料造りに必須な技術。→農作物の生産量の増加や安定に繋がった。	火薬の原料としても用いられるため、武器の生成にも転用できる。	フリッツ・ハーバー(ドイツ) 1918 ノーベル賞
4	殺虫剤（チクロンB）	簡単に害虫の駆除ができる。	★第二次世界大戦時、ナチスドイツによって、（ ）として使われた。	
5	ロボットやドローンの開発	★	★	
6	クローン技術	★	★	

2. 上記以外の研究や発明の例をあげ、それらが社会に与える正負の影響を考えよう。【個人案】

番号	研究・発明の内容	+正の面	-負の面

【グループで出た他案】

番号	研究・発明の内容	+正の面	-負の面

